

2022年
春号

さぽせん通信

あまやどり / 防災 / くらサポ / 旅サポ

発行
第1号

『あまやどり事業終了』

柏崎市は、東日本大震災直後に新潟県の自治体では最大となる2,091人におよぶ避難者受け入れを行いました。特に避難指示区域内からの避難者9割が仕事や親戚、知人を頼るなどして柏崎へ避難されておりました。

『柏崎市被災者サポートセンターあまやどり』は、避難者の孤独・孤立死を出さないように「避難者の見守り訪問」並びに交流拠点である「サロン活動」を軸として被災元や柏崎の状況について「情報提供」を行って来ました。

避難者が支援者となり、これまで経験のない仕事に戸惑いながら始まった見守り支援が丸11年をもって活動を終えます。

これまで、あまやどりの活動に関わっていただきました皆様には感謝しかありません。本当にありがとうございました。

この事業の経験が、これから先、同じような災害で被災されることになる方々が、再び前を向いて歩き出す事に僅かながらでも役立てれば幸いだと思っています。



2022年3月11日（金）避難者交流会



支援物資配布



あまやどり外観



あまやどり外観



見守り訪問

